



メールマガジン

2007年3月号 (Vol.2 No.3)

2007/3/26

目次

○ トピックス

九州大学アジア総合政策センター大野俊教授 来所
千葉大学留学生課藤咲仁一課長等一行三人 来所
九州大学大学院総合理工学研究院寺岡靖剛院長 来所
九州大学アジア総合政策センター国吉澄夫教授 来所
福岡アジア都市研究所主任 唐寅博士 来所

○ 学士学位記授与式における梶山千里総長祝辞——国際的視野を持つリーダーに

○ 九大人

北京師範大学教授——徐宗学

○ 中日最前線

○ Q-ナビ

メールマガジンへの寄稿

去年4月に九州大学北京事務所の設置に伴い、事務所の情報発信手段として、本メールマガジンが創刊されました。さまざまな不安材料を抱えての船出でしたが、今では約数千人の方々に毎月配信するまでになりました。これらも、ひとえに皆様のご支援のおかげでございます。

この一年を繰り返して見れば、本メールマガジンは皆さんの期待に答える情報交換の機能を果たしてきたわけではありません。情報収集、編集の力が不足で、作業が追いつかないため、提供した情報の量が少ないのみでなく、未完成なままで掲載してしまった記事も数多くあり、反省することしきりです。

年が改まるというのは、単に時間が経過したにすぎません。しかし、時間が経過したということは、いつまでも進歩なしままで許されるわけではないと受け止めています。今年は、「九大人」、「中日最前線」、「ミニリサーチ」、「Q-ナビ」などのコーナーを設け、皆様からの情報をお募りしながら、本メールマガジンの内容を充実することを図っています。この目標を実現するため、事務所一丸となって努力してまいりますので、読者の皆様も是非とも応援のほどよろしくお願いいたします。

ご寄稿くださる場合は、電子メールまたはファックスにて、九州大学北京事務所宛にお送りください。電子ファイルを添付していただくと、編集が効率的にできます。お読みになってのご意見やご感想をもお待ちしております。

編集代表者：九州大学北京事務所長 九州大学中国同窓会事務局長 宋 敏
発 行：九州大学北京事務所 九州大学中国同窓会事務局
住 所：〒 100086 北京市海淀区中関村南大街甲6号铸诚大厦 B座2008室
電 話：+86-10-5158-1387 ファックス：+86-10-5158-1367
メー ル：peiking_office@yahoo.co.jp (日语)
kyudai_ob@kyushu-ucn.net, kyudai_ob@126.com (中文)

■ トピックス ■

1

九州大学アジア総合政策センター大野俊教授 来所

3月14日、九州大学アジア総合政策センター大野俊教授が来所、2007年2月1日・2日、九州大学アジア総合政策センター及び中国社会科学院、韓国・東国大学校の共催により開催された「日中韓シンポジウム－新しい連携と地域アイデンティティの形成にむけて－」の盛況を紹介し、ポップカルチャーの越境や相互乗入れに関する日中韓共同研究などについて、宋敏所長及び零点調査会社の取締役の呉垠氏と話し合った。

大野俊教授は、九州大学理学部を卒業後、毎日新聞社の記者として20年余り勤務し、1990年12月から同社のマニラ支局長や経済部副部長などを歴任し、2002年8月、フィリピン大学客員教授、2006年月、豪州・アジア太平洋社会変容研究所研究員などを経て、2006年10月から現職に就任し、主に日中韓三ヶ国の間に生まれている新文化(大衆文化)に焦点を当てて東アジアにおけるポップカルチャーについて研究している。



2

千葉大学留学生課藤咲仁一課長等一行三人 来所



3月20日(火)、千葉大学留学生課藤咲仁一課長、国際教育センター新倉涼子教授等のご一行三人及び千葉大学のOBである中国農業大学安玉発教授が九州大学北京事務所を訪問し、在中国九州大学同窓会や北京事務所の設立経緯、及び運営

状況などについて九州大学北京事務所の李同帰副所長と詳しく意見交換を行った。訪問の目的としては、千葉大学の中国同窓会及び北京事務所を設立のための予備調査にしているようである。

■ トピックス ■

3 九州大学大学院総合理工学研究院寺岡靖剛院長 来所



3月20日(火)、九州大学大学院総合理工学研究院寺岡靖剛院長は北京事務所を訪問した。李同帰副所長は事務所の運営状況や、九州大学と中国各大学との学術交流及び学生交流の状況について、寺岡靖剛院長に説明した。寺岡靖剛院長は中国科学院との共同研究のため、来京。

4 九州大学アジア総合政策センター国吉澄夫教授 来所

九州大学アジア総合政策センター社会科学研究部国吉澄夫教授は、3月30日から4月1日にかけて行われている第15回中国国際放送情報ネットワーク博覧会を視察するために、来京。3月29日午前、調査の隙を縫いで、北京事務所を訪問した。国吉澄夫教授は、去年9月以来の二回目の事務所訪問ですので、事務所の現況について聞きながら、事務所の速やかな発展にも大きな関心を示した。



5 福岡アジア都市研究所主任唐寅博士 来所



3月29日午前、福岡アジア都市研究所主任唐寅博士が北京事務所を訪れた。唐寅主任は1994年に九州大学教育学部を修了して以来、ずっと中国と日本の中に往来し、アジア都市研究に従事している。日本で仕事をしている唐寅博士は、今まで同窓生たちの最新情報や動きを知ろうとしても、知り道がなかったという心境を打ち明け、北京事務所を通してそれが出来てよかったと、歓心の意を表わした。

平成18年度学位記授与式

平成19年3月26日(月)、平成18年度学位記授与式が、箱崎キャンパスの創立五十周年記念講堂で挙行され、以下の者に学位記が授与されました。

学士 2,597名(843)

修士 1,695名(434)

専門職 170名(78)

博士 359名(71)

()は女子学生で内数。

午前に行われた学士学位記授与式では、総長告辞に続いて、元内閣官房副長官で法学部OBの古川貞二郎(ふるかわ・ていじろう)さんが来賓祝辞を、文学部の斎藤彩世(さいとう・さよ)さんが学士総代として答辞を述べました。

午後に行われた修士・専門職・博士学位記授与式では、総長告辞に続いて、ソウル大学校の李長茂(Lee Jang-Moo イ・ジャンム)総長が、来賓祝辞を述べました。

■ 国際的視野を持つリーダーに ■

本日、ここに集われている平成18年度2,387名の学部卒業生の皆さんに、「卒業おめでとう」と心からお祝い申し上げます。また、本日まで卒業生を見守り、励ましてこられたご列席のご家族・関係者の皆様にもお祝い申し上げます。

九州大学で教育や研究指導を受けるなかで自己研鑽され、九州大学の学生としての誇りを持って晴れて社会へあるいは大学院へ巣立られる皆さん。私は、この知的集団を前にして、これからの日本・世界を背負う偉大なるエネルギーを肌で直に感じています。

また、本日は皆さんの大先輩である、元内閣官房副長官の古川貞二郎様をご来賓としてお迎えし、祝辞を頂戴できますことに、九州大学を代表いたしまして厚くお礼申し上げます。

皆さんが九州大学で人間性、社会性、国際性を身につけるための教育を受け、さらに専門的な研究の指導を受けて、学部卒業という輝かしい到達点に立つことができましたのは、学生の皆さん自身の努力の賜であることは勿論ですが、皆さんの周りの方々のお陰であることも忘れてはなりません。経済面から精神面まで支えていただいたご家族・関係者の愛情溢れる支援、人間的、社会的に独立できるように大学で教育・研究の指導をしていただいた教職員の励まし、人の心の温かさと痛み、友情とは何かなどを、人と人との付き合いを通じて教えてくれた先輩、友人の支えを忘れてはなりません。また、中学、高等学校時代には同窓生でありながら、何らかの事情で大学で教育を受ける機会がなく、これから皆さん達が出て行く社会で先輩として汗水を流して働いている方達の存在を忘れてはなりません。

不幸な第二次世界大戦終了より62年、皆さんの諸先輩は、厳しい生活の中、日本復興のため必死に日夜努力され、世界第二位の工業生産を誇る国にまで日本を成長させてきました。20年程前のバブル期にほとんどの日本人は、自分達は中産階級であると考えていましたし、衣食住の物質面で豊かさを謳歌していました。バブル期の日本人は物質面の豊かさに満足し、心・精神面の豊かさを育む努力を怠り、その付けが、最近多発する人間性を失った社会的事件の一因となっています。心の教育の不足が、社会性の無さや、人間関係を大切にす日本文化の崩壊に繋がっており、その結果が、今日の日本社会の無気力、経済の停滞あるいは日常生活での安全性の低下に繋がっていると私は思っています。物質面の豊かさと違って、心や精神面の豊かさや、自然や環境の豊かさは世界共通の評価基準で論じることができ、地球上で皆等しく享受すべきものです。

「豊か」は、「満ちたりたさま、不足のないさま」また「ゆるやか、やすらか」等と、物質面と心・精神面がともに満ち足りた状態をいい、生活の豊かさ、物質の豊かさ、健康の豊かさ、心・精神面の豊かさ、自然・環境の豊かさなど、様々です。最近では、産業構造も物質的豊かさから心の豊かさを基準にしたものに変化しつつあり、感性という人間の本質を価値判断に導入し始めています。日本の国家的豊かさを支えてきた産業、鉄鉱、造船、自動車、化学・石油、電気・情報、土木・建築などは、心や自然の豊かさに対応した健康、安全、環境に関わる産業へと変化しつつあります。健康、安心、安全など新しい型の日常生活の豊かさ、心の豊かさの実現のため、九州大学で学んだ皆さんには、21世紀社会を先導するリーダーとしての、行動と意識が求められています。

■ 国際的視野を持つリーダーに ■

九州大学の執行部の会議で、九州大学の学生で足りないものは何かを時間を掛け、熱心に討論したことがあります。結論は、21世紀社会を先導するリーダーとなり社会に貢献する、換言すれば日本を含めた国際的視野に立つて行動できる学生が少ないということでした。中央教育審議会・大学部会でも新時代の高等教育と社会について答申しており、その中に「21世紀型市民の養成」というのがあります。「21世紀型市民」とは、専門性を有し、幅広い教養を身につけ、社会の持続的発展のために、時代の変化に合わせて積極的に社会を支える、あるいは社会を改善する資質を有する人材のことです。近年、情報の伝達の早さ、交通機関の高速化など時間的尺度では地球が著しく狭く、小さくなっています。特に人の動き、経済活動では国境という概念が無くなりつつあり、科学研究は勿論、政治さえも世界は一体化しつつあります。このような社会では「国際的視野に立つ」ということは、私達の社会的・国際的活動に不可欠です。卒業生の皆さんは在学中に「国際的視野をもち社会的リーダーとして行動する」ということを深く考えたことはないかもしれませんが、皆さんが、特に意識していなくても、このことを既に実行している人は多いと思います。「国際的視野をもつリーダーに」という言葉の内容は、グループを作り、社会奉仕するや留学生と日本人のコミュニケーションを深める等、日常生活でも容易に実現できます。九州大学も皆さんに社会のリーダーとしての素養を身につけさせるために、問題提起・自己解決型教育、いわゆる自己デザイン教育や、大学院共通教育として「リーダーシップ論」等も始めています。本日ご臨席の古川貞二郎先生にも「リーダーシップ論」の講義でお世話になっています。また、昨年よりアメリカ西海岸のシリコンバレーで行っている「九州大学・ロバートファン/アントレプレナーシップ・プログラム」もこれに該当します。このプログラムに参加した学生は、外国で高い志を持って起業家として活躍し、リーダーとして社会に尽くしている日本人の方々の国際的視野の広さと精神力の強さを直接肌で感じたことと確信しています。

「リーダーになること」と「リーダーであること」は行動としては連続していますが、異なった意識を持って実行するものです。今ここで皆さんに求められていることは「リーダーであること」よりむしろ「リーダーになること」です。「リーダーであること」は、いくつかの行動規範を守り実行力・統率力を持つことが不可欠です。例えば、正しいと思うことをすぐ行い、結果に対して責任を取る、決断したら即実行する、批判に挫けないで仕事をする、首をかけて退路を断つ決意など、リーダーとしての心構えが多くあります。皆さんに求められている「リーダーになること」を実現するためには、そのための訓練、学習も必要です。チャレンジすること、考え・行動するときは積極的、建設的であること、何事にも独自の考えを持つ、行動に対しては決意と夢を持つ、などです。

職業や専門を取ったら何が残るかでその人の価値が決まります。リーダーシップの意識を持ち国際的視野に立つて社会に貢献することも、人間としての価値の表現の一つです。そのためには、個性、独創性、創造性を身につけるための日頃の訓練と、日本を含めた国際的視野を持つて問題点を把握し判断できるようになることが必要です。いろいろな機会に私が言っていることですが、個性、独創性、創造性の涵養には、身の回りで起きる自然の変化、社会の変化に関心と好奇心を持ち、常に「何故」と考え、その回答として自分の考えを持ち、その考えを他人に説明、伝達する訓練が必要です。自分の意見を持ち、それを発表することが、その人の個性に繋がり独創性となり、独創性の広がり積重ねが創造性を生み出すのです。また、「国際的視野」の涵養には、あらゆる分野の文化の多様性を受入れることがまず第一です。外国語が喋れるということと国際的感受性を持つことは全く別問題です。国際的視野に立つということは、様々な国の歴史、民族、自然や政治、経済など、あらゆる異文化を認め、理解することです。

活躍する分野や、社会的、国際的重要性、影響力の広がり等リーダーとしての活躍の仕方は様々ですが、最近の日本では品格、見識があり国際的視野に立つて行動できる力強いリーダーが少なくなっている様に思えてなりません。明治維新で活躍した人々は社会を変えるという高い志を持っていました。九州大学で四年間教育を受けた皆さんは、高い道德心と高邁な理想を追い求める心構えと実行力を身につけられたと、私は信じています。皆さんの一人一人の小さな努力の積み重ねとリーダーシップの発揮が、やがて日本を良い方向に変えるエネルギーになると、私は確信しております。

リーダーとして自覚を持ち、国際的視野で社会を先導する皆さん達を、今ほど社会が待ち望んでいる時はありません。真に豊かな日本、世界を実現することができるものは、若い皆さん方一人一人の情熱と努力です。社会に出られても、九州大学で学び身につけたことや九州大学の輝かしい伝統を生かし、皆さんの後に続く後輩達への良き道しるべとなるように、活躍してください。そのためには、心身共に健康であることが不可欠です。人間として、他人の痛みの分かる心を備えた大人として活躍されることを願って、告辞いたします。

「国際的視野を持つリーダーに」

平成19年3月26日
九州大学総長
梶山千里

■ 九大人 ■

時計の針が止まらず
歳月がここに留まる
九州大学北京事務所
九大人がここにいる

本コーナーでは、ミニ事典、現場直撃レポート、インタビュー、奮闘記などの側面から、九大OB及び九大の先生や教職員を描きます。人選は事務所で選ぶと同時に、ご紹介になりたい方も募集。投稿はE-mailでお送りください。可能な限り掲載しますが、本誌の目的や性格に照らして不相当と思われる内容は掲載しません。

徐宗学

☆☆☆☆☆

北京师范大学 教授
九州大学同窓会副会長
“京師学者”特聘教授
博士指導教授

足跡

志さえあれば必ず成功する
三人行えば必ず我が師があり



1962年12月山東省淄博市に生まれ。1979年武漢水利電力学院に入学、1988年に博士号を取得、同年清華大学に就職。1993年奨励訪問研究員として九州大学に赴任、神野健二研究室の一員になり、1995年日本建設技術研究所の主任研究員として務め、1997年ドイツ魯尔大学の洪堡奨学金を獲得、客員教授としてドイツに赴任。2000年訪問科学者として日本山梨大学の教員になり、2003年帰国。現在は、北京師範大学水科学研究院の教授、副院長である。

インタビュー

Q1先生が海外に長年に活躍して大きな成果をお収めになりましたね。コツと言うか、今の若者、特に留学しようとする学生たちに聞かせたい言葉はありませんか。

A1まあ、経験話ですが、国外では、本当の能力を持たなければ、他人に認められてもらえないです。成功がチャンスと能力次第であると国内で言われたように、国外も同じです。人間は知能指数の差があまり付かない。誰かが時間を掛けて汗を流してやれば、必ず報われると思います。

Q2総合型の国際人材として成長してきて、水利工程面では立派な成果を挙げました。自分の成功をどうお考えでしょうか。

A2この取るにも足りない成果を挙げたことができるのは、恩師たちの親切な指導と関心、また家族からの大きな支持のおかげです。この場を借りて、特に九州大学の神野健二教授に厚くお礼を申し上げます。日本に行った時、言葉が通じないから、様々な困難にあったが、神野先生のおかげで、それを克服し、仕事に専念できるようになりました。

Q3先生のご趣味は何ですか。

A3音楽の鑑賞と水泳が好きです。

Q4先生はお気に入りの言葉がありませんか。

A4そうですね、今までは、「志さえあれば、必ず成功する」という言葉に励んできましたが、このほか、「三人行えば必ず我が師があり」というのも、気に入っています。誰でも長所があるから、周りの人々に謙虚に学ぶべきだと思っています。

■ 中日最前線 ■



ようこそ！中日最前線は、今月の焦点、流行傾向、最新動き、注意喚起などのテーマで、さまざまな記事やニュースを収集し、みなさんにお届けします。さあ～お読みになってのご意見、ご感想やアドバイスをお待ちしています。

最新動き

金山軟件、「中国のソフトを日本人の消費者に」

中国のソフトウェア大手会社の金山軟件(キング・ソフト)はこのほど、「傘下の日本子会社が日本最大のベンチャーキャピタルであるJAFCO・ジャフコからリスク投資を受け、当該資金はすべて金山軟件の日本市場での運営と開拓にあてる」ことを発表しました。

金山軟件の日本子会社は2005年3月に、日本に設立されたもので、その後、金山が日本市場向けにリリースしたセキュリティソフト「金山毒霸」(キングソフトインターネットセキュリティ)やオフィスソフト「WPS office」などは、試作版の無料ダウンロードなどを通して、短期間で日本市場の好評を受けました。雷軍氏は2007年、金山はこれまでの経営方法を変えて、「現地の実情に立脚して、斬新なビジネスモデルを採用し、ソフトとインターネットを密接に融合させ、日本人の消費者向けに中国のソフトを提供していく」と意気込みを語っています。

<http://japanese.cri.cn/341/2007/03/20/1@89359.htm>

今月の焦点

中国全人代、日本衆議院と定期交流をスタートへ

中国全国人民代表大会常務委員会の路甬(ヨウ)祥副委員長が代表団を率いて22日、北京を離れ、日本に向かいました。今回の日本訪問は中国全人代と日本衆議院との定期交流システムの正式なスタートとなります。

全国人民代表大会の関係部門の責任者の話によりますと、訪問期間中、双方は政治や安全保障問題、二国間の経済貿易関係およびエネルギーと環境保護などの問題をめぐって、三回にわたる正式会談を行います。

この責任者の話では、今回の訪問中、中日双方は率直に対話を行い、交流を深め、共通認識を拡大し、相互信頼を深めることにしています。今回の訪問が温家宝首相の日本訪問により雰囲気を作ることが期待されています。

<http://japanese.cri.cn/151/2007/03/22/1@89572.htm>



トレンドキャッチ



女優賞に中谷美紀さん 香港のアジア映画賞

http://www.nishinippon.co.jp/nnp/culture/20070321/20070321_002.shtml

2007年中国国際アニメーション祭りが4月28日杭州にて開催 <http://www.cicaf.com/>
宮崎アニメ新作「崖の上のポニョ」、来夏公開

http://www.nishinippon.co.jp/nnp/culture/20070320/20070320_001.shtml



注意喚起

第75回「未来遣隋使少年の船」出港式、東京で行なれる

<http://japanese.cri.cn/151/2007/03/21/1@89431.htm>

中国日本商會が中国大学生訪日プロジェクトを立ち上げ

<http://j.peopledaily.com.cn>

/2007/03/23/jp20070323_69

102.html

日本「上海ウエーク」開幕式が日本で挙行

<http://japanese.cri.cn/205/2007/03/19/1@89309.htm>



■Q-ナビ■



Q-ナビコーナーは、情報カレンダー、今月の見どころ、九州知恵袋、旬の味等のテーマで、九州大学、九州などを中心として、日本と中国に関する情報を発信します。皆さんにも役に立つ情報を募集致します。寄稿は、e-mailにてお送りください。

情報カレンダー

- 3月12日 平成19年度外国人留学生医療費補助制度更新
<http://www.jasso.go.jp/scholarship/iryuohi.html#hojoritu>
- 3月27日 九州の各県内奨学金最新情報
http://www.jasso.go.jp/s_kyushu/s_info_kyushu.html
- 3月27日 サマースクール参加者募集中！【新着情報あり】
<http://www.isc.kyushu-u.ac.jp/intlweb/study/summer/summer.htm>
- 3月30日 日本学術振興会 各種募集事業一覧
<http://www.isc.kyushu-u.ac.jp/intlweb/teacher/gakushin/appli.htm>
- 3月30日—4月1日 第15回中国国際放送情報ネットワーク博覧会は、北京で開催
http://www.kfli.co.jp/seminars_events/ccbn2007/index.html
- 4月3日 第48回外国人による日本語弁論大会 出場者募集の応募締切
http://www.jpf.go.jp/j/japan_j/topics/benron/index.html
- 5月1日 日本貿易振興機構開発スクール(IDEAS)第18期日本人研修生を募集
<http://www.ide.go.jp/Japanese/Ideas/Appli/>

季節特集——桜篇

桜前線とは

日本各地の桜の開花予想日を結んだ線のこと。

<http://www.nishinippon.co.jp/nnp/local/sakura/>

福岡桜スポット情報

<http://www.rurubu.com/season/spring/sakura/list.asp?KenCD=40>



花よりは団子
桜餅



1. 桜の語源

2. 桜の種類はいくつある？

さくら名所100選



桜湯



詳しく知りたいならこちらへどうぞ

<http://www.rurubu.com/entame/04spring/unchiku/index.asp#sakud>

